



平成21年11月16日

各 位

会 社 名 株式会社 松 風
代 表 者 名 取締役社長 根來 紀行
コード番号 7979 (東証第二部)
問 合 せ 先 総務部長 寺本 真也
(TEL. 075-561-1914)

三井化学株式会社及びサンメディカル株式会社との 共同開発契約締結に関するお知らせ

既にお知らせしておりますとおり、当社は、平成21年5月20日開催の取締役会において、三井化学株式会社（本社：東京都、社長：田中稔一）及び三井化学株式会社の子会社であるサンメディカル株式会社（本社：滋賀県、社長：鎌田一則）との間で、3社が展開している歯科材料事業に関して業務・資本提携を行うことを決議し、業務提携及び資本提携に関する基本合意書を締結いたしました。詳細は、同日発表の「三井化学株式会社及びサンメディカル株式会社との業務・資本提携に関するお知らせ」をご参照ください。

この基本合意に基づき、新製品開発、製品販売、生産合理化の面から業務提携の具体的な内容について、3社で設置した検討委員会でテーマの選定並びに詳細化作業を進めておりますが、このたび、歯科用材料「低重合収縮性コンポジットレジン」に関する共同開発契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

三井化学株式会社は、素材メーカーとして高い素材開発力を有しておりますが、同社のモノマー、ポリマー合成等、材料分野に関する技術開発力と、サンメディカル株式会社及び当社が保有する歯科材料への応用技術、生産技術力を融合し、世界の歯科市場において競争力を持った最先端の歯科材料の開発を目指すものであります。

これら新製品の開発により、歯科治療を受けられる方々及び歯科医療従事者の方々のご要望に応えるとともに快適性・利便性を高め、このことにより歯科医療の水準向上に貢献したいと考えております。

今後とも、三井化学株式会社、サンメディカル株式会社及び当社は、業務提携により、それぞれの得意分野を中心に経営資源の有効活用を進めることで事業力を強化し、市場における存在感及び企業価値をより高めていきたいと考えております。

以 上

【ご参考】

低重合収縮性コンポジットレジンについて

歯科用コンポジットレジンは、主に虫歯を削った部位の修復に使用される充填修復材ですが、近年、天然歯に近い色調の再現や歯を極力削らない治療が求められる中で、高い成長を続けている分野であり、歯科材料メーカー各社の技術開発競争が激しい分野でもあります。

歯科用コンポジットレジンは、光重合（可視光を照射して固める）タイプが主流ですが、辺縁封鎖、二次う蝕の防止という面から、重合の際に極力収縮が生じない材料が求められ、この面での技術開発が続いております。

こういった中で、当社は、今回の3社共同開発により、当面、世界最高水準の収縮率、最終的には収縮率ゼロの材料開発を目指し、これにより、国内外での同市場におけるシェア拡大を目指すものであります。

なお、歯科用コンポジットレジンの市場規模は、国内50億円、海外500億円と推定されます。